



単回使用ホルター心電計による 心房細動の早期診断

日本医科大学大学院 医学研究科
循環器内科学分野 教授

清水 渉 先生

心房細動による脳梗塞リスクと早期診断の重要性

近年、超高齢化社会を迎える中で心房細動は増加の一途を辿っており、その患者数は健診ベースのデータで約100万人にも上ります。心房細動は脳梗塞の原因疾患としてよく知られており、心房細動になると心臓の内部（特に左心房）に血栓ができやすくなり、それがあつたとき突然はがれて脳動脈に流れ込み、心原性脳塞栓症が発症します。また、その割合は脳梗塞全体の約3分の1を占めています。心原性脳塞栓症は重症化しやすく、約半数が死亡もしくは重い後遺症による寝たきりや車いす生活となります。心房細動の自覚症状としては、主に脈の乱れ、労作時の疲労感や息切れ、胸部不快感が挙げられますが、自覚症状がないケースも多いことから、脳梗塞がおきて病院に運ばれて、その後心房細動が見つかるようなケースも少なくありません。このような患者さんを1人でも減らすためには、循環器専門医だけでなく、地域のかかりつけ医の先生方が、如何に高齢、心不全、高血圧、糖尿病等の脳梗塞リスクの高い患者さんに対して、心房細動を早期に診断し治療介入できるかが重要となります。

心房細動を早期診断するためには定期的に心臓の状態を確認することが重要です。簡易に行える心房細動検出法である検脈でのチェックを行い、脈の異常が疑われる時には、心電図検査によって早期に診断することが重要です。しかしながら、10秒程度の12誘導心電図検査だけでは全ての心房細動を捉えることはできません。心房細動は発作の持続期間によって「発作性」「持続性」「長期持続性」に分けられますが、特に発作性心房細動では必ずしも12誘導心電図記録時に心房細動がとらえられるとは限りません。こうした背景を踏まえて、24時間以上の波形を捉えることができるホルター心電図検査を考慮する必要があります。

単回使用ホルター心電計がもたらす利便性

ホルター心電図検査は、日常生活の心電図を記録するために、丸1日（24時間）をかけて実施します。そのため従来では、外来患者の場合、機器の取り付けと24時間後の取り外しのために連続2日の通院が必要でした。最近開発された単回使用ホルター心電計「Simple Holter」は、医師の指導のもと患者さん本人やご家族が取り付け、付属の封筒に入れてポストに投函することも可能で、通院が取り付け時の一回で済み、患者さんの通院の負担が軽減されます。また、機器が小型で装着感が良く入浴も可能です。

さらに、電極と機器本体が一体化しており、電極の貼り付け箇所も少なく操作が簡単なことに加え、単回使用であるため衛生的です。これらのことはコロナ禍の影響によって増した医療スタッフの負担を軽減します。

ホルター心電計と聞くと、専門性が高いと感じられる先生もいらっしゃるかもしれませんが、検査終了後に機器を付属の封筒に入れて郵送するだけで、循環器専門医による判読所見付き検査結果レポートがPDFで送られてきます。さらに単回使用のため初期導入費はなく、従来のホルター心電図検査*として実施可能ですので、これからホルター心電図検査の導入をご検討の先生でも安心して使用可能です。（*診療報酬 ホルター心電図検査 1,750点）

抗凝固療法による心原性脳梗塞の予防

心電図による診断後は、心房細動そのものに対する治療に加えて、脳梗塞予防を目的とした抗凝固薬の処方を検討します。心房細動による脳梗塞の発症リスクを評価する CHADS₂ スコアでは、心不全、高血圧、年齢が75歳以上、糖尿病、脳梗塞等の既往歴が指標として用いられており、該当項目が多いほど脳梗塞の発症リスクが高くなることが示されています。心不全の判断には迷われることもあるかと思いますが、心不全症状や臨床所見がある場合も心不全と捉えます。また高血圧では既往歴のある方も含まれるため広い範囲で注意が必要です。こうした危険因子を有する患者さんでは、より早期の診断治療介入が求められます。2020年3月に改訂された日本循環器学会/日本不整脈心電学会合同作成の「不整脈薬物治療ガイドライン」では、CHADS₂ スコアが1点以上の場合は、すべての直接経口抗凝固薬（DOAC）が推奨、ワルファリンが考慮可の位置づけとなりました。この背景には、DOACに関するエビデンスが蓄積され、ワルファリンに比べて同等以上の有効性及び安全性が認められたことがあります。

以上のことから、リスクの高い患者さんには積極的に Simple Holter 等を用いて早期に診断し治療を行うことが重要となります。

私たちのような大学病院をはじめとする中核病院と地域のかかりつけ医の先生方とが、脳梗塞予防に向けて連携していくことが重要かと思えます。

単回使用防水ホルター 検査キット

Simple Holter[®]

シンプルホルター

初期投資不要の検査キット

シングルユースの記録器と解析サービスをセットにしたホルター心電図の検査キットです。
1箱からご購入が可能のため、従来よりも気軽に検査を開始できます。

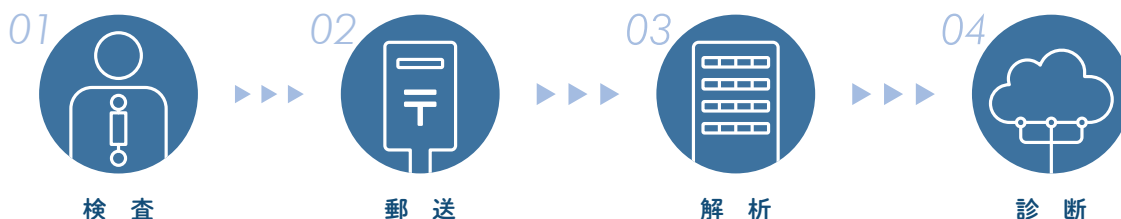
診断をサポートする解析サービス付き

循環器専門医による判読コメントと患者さま用レポートによりこれまでホルター検査の経験がないご施設での診断をサポートします。



認証番号 303AGBZX00104000
特定保守管理医療機器

ご利用方法は次の4ステップ



01 検査
医院にて記録器を装着し、検査をスタート。

02 郵送
検査が終了したら記録器を取り外し、返送用封筒に入れてポストイン。

03 解析
解析センターで解析と判読を行います。

04 診断
解析レポート取得サイトからPDFデータをダウンロード。

※解析サービスは業務提携先の株式会社ネットホスピタルが提供します。

製造販売業者

ケンツメディコ株式会社

本社 / 埼玉県本庄市児玉町共栄 552 番地 1 〒367-0206
TEL (0495) 71-1001 FAX (0495) 72-6716
ホームページ <http://www.kenzmedico.co.jp>